



文化の振興

質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

主担当部局：地域振興部



ムジークフェストなら 2016(奈良公園・春日野園地)

目指す姿

「奈良県文化振興大綱」に基づき、本県らしい個性あふれる文化振興施策を推進し、「歴史と芸術が息づく、心豊かな文化の都・奈良県」を目指します。

目標

平成33年度までに、
**芸術・文化を行う
県民の割合を**

全国 **1位**
にします。

(平成23年度:2位)

平成31年度までに、
**文化関連支出
(世帯当たり)を**

全国 **10位以内**
にします。

(平成26年度:14位)

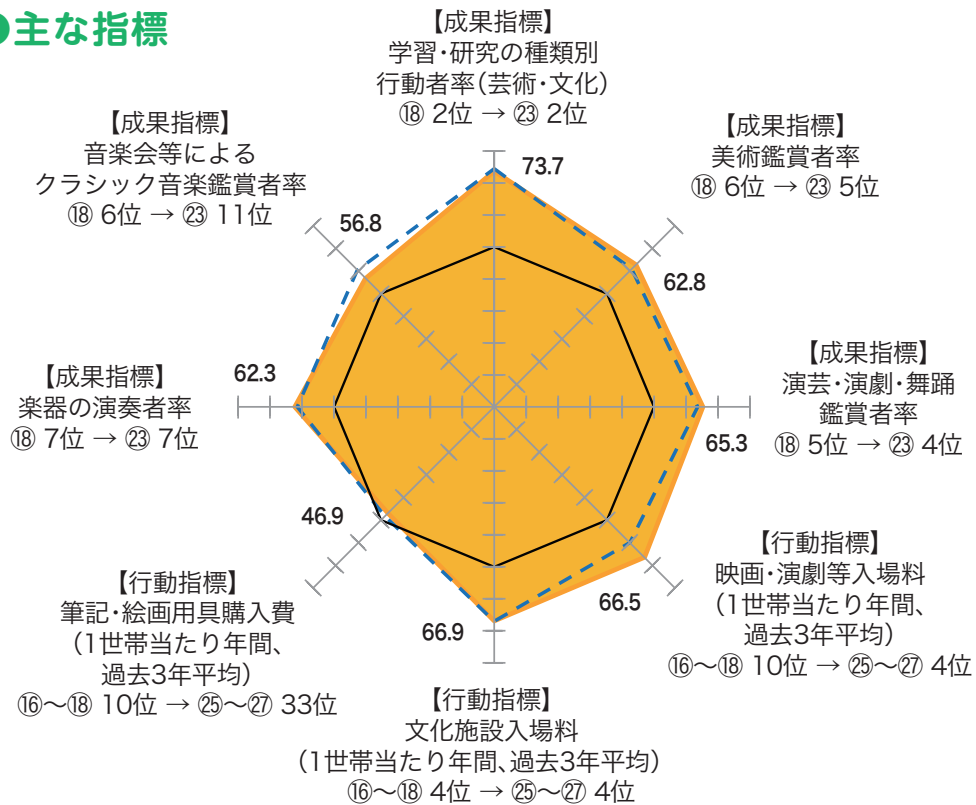
平成31年までに、**美術館・
博物館・社寺等文化施設
入場料支出**(世帯当たり)を

全国 **1位**
にします。

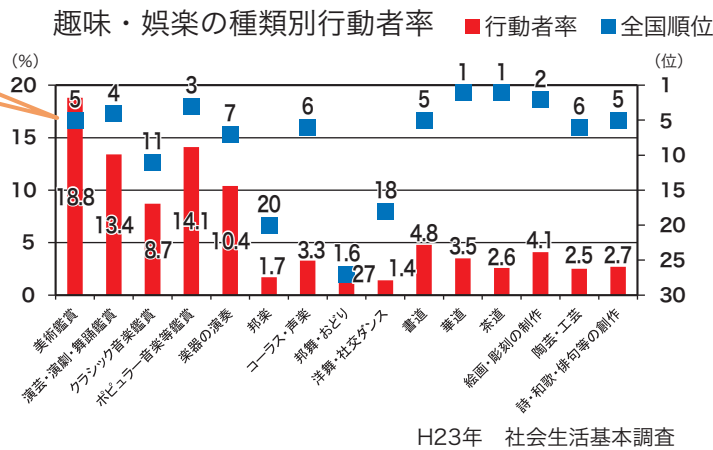
(平成24年から
平成26年平均:3位)

分 析

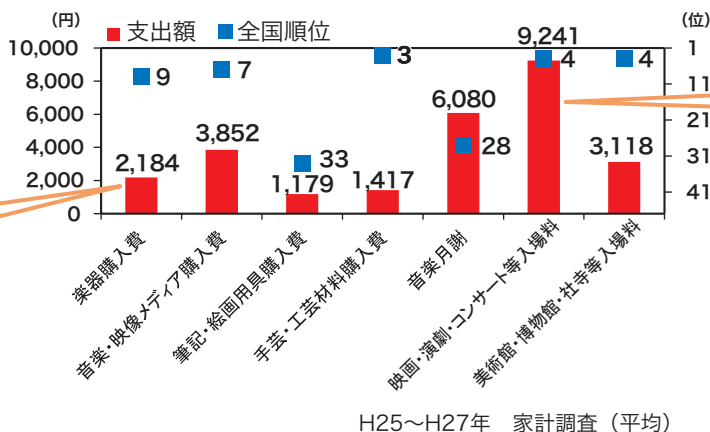
●主な指標



美術鑑賞(6位)、
書道(6位)共に
全国順位が5位に
上昇しました。
(※H18年との比較)



家計支出にみる文化活動の状況
(都道府県庁所在市、2人以上の世帯)



支出金額が若干増加
(1,981円→2,184円)
し、全国順位も上昇
(14位→9位)しまし
た。(※H24～H26
年 家計調査(平均)
との比較)

支出金額が若干増加
(8,151円→9,241円)
し、全国順位も東京
都、福岡県、愛知
県に次いで4位とな
りました。(※H24
～H26年 家計調査
(平均)との比較)

気軽に芸術文化に親しみ、参加する機会や人々が集い、交流を深める
場を創出します。

主担当課：地域振興部 文化振興課

戦略目標

- ▶ 平成33年度までに、県民アンケートにおける文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合を55%に高めます。(平成28年度:49%)
- ▶ 平成33年度までに、県民アンケートにおける観光やリクリエーションのために県内各地を訪問する目的を"美術鑑賞・展覧会等、演劇・コンサート鑑賞"とする県民の割合を15%に高めます。(平成28年度:11.1%)
- ▶ 平成31年度までに、奈良県大芸術祭の来場者を115万人に増やします。(平成26年度:97万人)
- ▶ 平成31年度までに、県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の周知度を50%以上に高めます。(平成26年度:21.9%)
- ▶ 文化・芸術活動を行う団体や個人への支援を進めます。

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
「ムジークフェストなら」の開催	継続開催			
奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催				
奈良県大芸術祭の開催	継続開催	国民文化祭をきっかけに発展		
上質な芸術文化に触れる機会の提供				
県立美術館特別展の開催	藤城清治 光のメルヘン展等開催	魅力的な特別展を実施		
文化施設等(文化会館・橿原文化会館・万葉文化館等) でのコンサート、展示事業、美術展等の実施	様々なコンサートや展示事業等の自主事業を実施			
文化・芸術活動を支える人材の育成				
県立ジュニアオーケストラ活動の充実	コンサートの開催			
文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充				
奈良県大芸術祭での発表機会提供	様々な会場での発表の機会を提供			
「ムジークフェストなら」での発表機会の提供	様々な会場での発表の機会を提供			
県庁星空コンサートの開催	発表の機会を提供			
奈良県美術展覧会の開催	発表の機会を提供			
「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回 全国障害者芸術・文化祭なら大会」の開催	開催準備	開催(平成29年 9月1日～ 11月30日)		
地域伝統芸能全国大会の開催	開催準備			開催
文化芸術団体への支援の拡充・強化				
新たな文化活動チャレンジ補助金	継続実施			
奈良県大芸術祭での広報支援	広報支援			
顕彰制度の創設	検討		創設・運用	



「ムジークフェスト
なら2016」
オープニング
コンサート(東大寺)



奈良県大芸術祭
オープニング
イベント
(橿原神宮)

歴史を通して文化への理解を深め、奈良に住まうことへの誇りと文化継承の機運を醸成するとともに、地域の振興を図ります。

主担当課：地域振興部 文化資源活用課

戦略目標

- ▶ 平成33年度までに、**住みたい理由として、「世界遺産や文化財等が多く、歴史的な雰囲気を感じるから」と挙げる県民の割合を40%に高めます。**(平成28年度:35.9%)
- ▶ 県民の身近な生活に関する項目の満足度として、**「文化遺産や史跡が大事にされていること」の平均点数3.5点以上を維持します。**(平成28年度:3.58点)
- ▶ 平成33年度までに、**奈良県歴史文化資源データベースのアクセス数を年間30万件以上に高めます。**(平成28年度構築)
- ▶ 平成31年度までに、**県立文化施設の来訪者数1,355千人を目指します。**(平成25年度:1,318千人)

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
奈良県歴史文化資源データベースの構築				
	構築	HP公開・情報の充実		
歴史文化資源の整備・活用の推進				
指定文化財等の活用と支援	市町村等への補助の実施			
効果的な情報発信手法の確立				
歴史文化資源の説明力向上	分かりやすく親しみやすい情報発信の検討			
主要 ジェクト 17 記紀・万葉プロジェクトの推進				
親しみやすい情報発信	「なら記紀・万葉名所図会」の制作			
イベントによる情報発信	「古事記のまつり」の開催等			
聖徳太子プロジェクトの推進				
市町村等と連携した情報発信	推進協議会の設立	関連イベントの開催等		
文化における国際交流や国際貢献の推進				
アジア太平洋地域の世界遺産等文化財保護協力との連携	日本文化の紹介や文化遺産修復研修の実施			
奈良の仏像海外展示の実施	準備		展覧会の実施	
地域の歴史を大切にする機運の醸成				
地域交流及び人材育成の推進	文化財修理・修復体験等の実施			
歴史文化を継承する担い手の育成				
奈良県文化芸術振興奨学金の実施	文化芸術の担い手となる大学生等の支援			
主要 ジェクト 18 (仮称)奈良県国際芸術家村の整備				
歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点を設備	基本計画の策定	調査・設計等	建築工事	
県立歴史関連施設を核とした施策の展開				
現場、現物と歴史のつながりを体験する機会の創出	企画展やイベント等の開催			

主要
プロジェクト
17

主要
プロジェクト
18



古民家の活用
「なら民博ふるさとフェスタ」
(奈良県民俗博物館)

市民参加の発掘調査
「市民発掘隊」
(御所市)



これまでの成果

★梅雨の古都・奈良を彩る「ムジークフェストなら2016」(平成28年6月11日～26日)を開催し、約112,000人の来場者を集めました。

- 奈良県大芸術祭を9月から11月まで開催し、さまざまな主催事業を実施するとともに、およそ760催事が催されました。

★2017年秋の「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」開催に向け、1年前プレイベント(平成28年9月3日)等を開催し、機運醸成を図りました。

- 開館10周年を迎えた県立図書情報館において、記念トークイベントや講演会、大規模企画展示等を開催し、年間約547,000人が来館しました。

- 県立ジュニアオーケストラが「ムジークフェスなら2016」、奈良県大芸術祭等5公演に出演しました。

主な指標の動き

●よくなっている指標

映画・演劇等入場料(1世帯当たり年間、過去3年平均)



全国順位は10位から4位へ上昇し、金額も増加しました。

●変化が見られない指標、低下している指標

学習・研究の種類別行動者率(芸術・文化)



行動者率は低下しましたが、全国順位は2位を維持しています。



「国文祭・障文祭なら2017」PR隊



「国文祭・障文祭なら2017」PRポスター



記紀・万葉プロジェクト「名所図会」の制作



県立ジュニアオーケストラ定期演奏会(奈良県文化会館)